

【様式】長崎県内の具体的取組紹介

【学校名】

壱岐市立勝本中学校



【取組の概要】

1年生は、グループごとにSDGsの項目を選び、その項目に沿って「2030年に住んでいたい壱岐の姿」を考え、その目標を達成するために、自分たちでできることに取り組んでいます。2年生は、SDGs 14「海の豊かさを守ろう」に着目し、漂着ゴミの削減を目指して活動しています。生徒たちはポスターやクリアファイル、拡大絵本及び漂着ゴミによるオブジェ等、自分たちで考案した様々な方法で取組について発信しています。

【取組の実際】

- ① 学習を進めるにあたり、生徒自身が学習課題（目標）やその解決方法について考える。（意欲的に学習に取り組む工夫）
- ② 1年生：「2030年に住んでいたい壱岐の姿」を文章にまとめ、その達成へ向けて活動する。（関係機関への聞き取り、体験学習等）
- ③ 地域との協働（市役所、漁協、壱岐みらい創りサイト、住環境計画研究所等）
- ④ 2年生：海岸のゴミ拾い、分析を通じた現状の把握
- ⑤ 2年生：ゴミ問題の解決に向けた発信（SNSの活用、ポスター、リーフレット、オブジェ等）

②



③



④



⑤



生徒自らが地域の現状や未来について主体的に考え、SDGsの取組を通して、ふるさとを思い、ふるさとの将来を担う態度や力を養うことにつながった。

【メッセージ】

生徒自身が地域の課題や地域の未来について主体的に考え、課題解決へ取り組むとともに、地域と協働して活動することによって、生徒は「自分たちも地域の一員として取り組む」というふるさとへの意識を高めることができます。学校での学びを地域で活かす・地域と活かすことで持続可能な取組にできます。